

## 「2R」啓発 イベント参加報告

整理番号: 20190217

イベント名	第51回 アクト通りふれあいデイ
実施内容	
活動日時	2019年2月17日(日) 8:00~17:00
活動場所	アクト通り
活動者名	村河、藤田、高根
詳細	①イベントごみ削減提案「リユース食器貸出」 ②移動 子ども もったいない市 ③「ごみゼロカフェ」市民意見聴取 ④楽器のリユース事業

事業の様子と成果	<p>ブースへの参加人数:43名 (大人 40名、子ども 3名) 貸出リユース食器 お湯呑 203個→全て使用 ごみ減量リーフレット 6枚、2R実践メモ帳 2冊、楽器・食器啓発チラシ 6枚 生ごみそのまんまポイッ 1枚、段ボールコンポストテキスト 2枚 ツイスターロック 17枚</p> <p>野菜販売の横で、ロスを出さない方法のひとつとしてツイスターロックを紹介。ロス削減に興味を持つ市民が多かった。中には、必ず食べキリ・使いキリをしているので、便利グッズは不要との声もあった。</p> <p>貸出リユース食器利用＝市民の意見＝ ・その場限りではない、人間の温かみを感じる。配布すればよい。無料だからもらえばよいの関係ではない。(40代 男性) ・安心感がある。紙コップは、温かい飲み物だと形が変わる。(30代 女性) ・美味しく感じて、飲みキリできる。(10代 男性) ・ごみを出さなくてよい。(30代 女性) ・温かくして飲める。子どもに安心(30代 女性) ・手触りが良い。(70代 女性) ・美味しかった。(10代 男性) ・紙コップより温かいので最後まで飲みキリしました。(70代 女性) ・食器が再利用できるのであれば寄付したい。良い取り組みだと思う。(30代 女性) ・ごみを減らすと叫びより、実践的で良いと思う。(60代 女性) ・後で洗うのが大変ではないかと思いますが、甘酒を最後まで温かく飲めました。使い捨ては、便利だけど1回だけではもったいないですね。(70代 女性) ・ごみ減量と言われるよりも1つの方法として提案されているようなのでよい。食器をごみにしない方法として良いと思う。(60代 女性) ・イベントごみの減量を考えた事がなかった。リユース食器の利用は、ごみを減らせると思う。(30代女性)</p> <p>毎年2月には「甘酒の無料配布」が行われている。貸出食器も3年目になった。以前は、子どもの安全から食器の使用を嫌がる家族がいたが、今回は、そのような意見は無かった。また、ごみ減量のひとつの手法として理解する市民がいた。事業を継続したこと。浜松市の進める「ごみ減量天下取り大作戦」の浸透の結果が考えられます。</p>
----------	--

記録添付

